



多古町長  
菅澤 英毅

**新**年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

地方を取り巻く情勢は大きく変ばうし、税財源の移譲を含む三位一体の改革の一方で、ますます地域経済は疲弊しております。

活気を取り戻せる多古町を目指し、特に「税財源の拡大・健全財政維持」「人口減少対策を含む少子高齢化対策」「内科医不足解消等の医療体制整備」「二学期制の導入ほか教育環境整備」等々、町議会のご協力と今一層の対応に期待しながら、新しいまちづくりを皆様と一緒に考えてまいりました。今後とも、それらに向かい邁進してまいります。

多古町の活力を増大させるため、道路網の整備は喫緊の課題です。圏央道整備のための県都市計画審議会の審

議がなされましたので、一日も早い整備促進を期待しております。さらに、国道296号4車線化、物流基地整備、工業立地特区、パーク&ライド(パークスターミナル)、アウトレット等々の地域活性化策を関係機関に要請するなど、今後、この圏央道の波及効果を活かした魅力ある多古町づくりを、積極的に促進してまいります。

最近の世界の航空需要の変化に伴い、成田国際空港を取り巻く諸情勢も変化し、国では「成田空港は、もう特別でない」「都心から遠く使い勝手が悪い」「成田空港の限界論」といった発言も多く聞かれる中、羽田空港の国際化の促進や4本目の滑走路着工等々、東京・神奈川県を包含した再整備が進められております。このように、予断を許さない状況下にある成田空港ならびに周辺市町は、その変化へ迅速に対応し、取り残されない努力が必要であります。

このような状況下、成田空港を中心に、一体的な環状道路整備、土地利用構想など、空港エリアのまちづくりへ主体的に取り組み、地域から計画を発信していこうと、4市5町で組織する「成田国際空港都市づくり推進会議」が発足いたしました。一方、成田空港を取り巻く行政単位を拡大

して行政効率を高め、機動力を発揮するためにも、空港圏合併の必要性への機運が高まりつつあり、関係市町長の会議もたれました。

平成の大合併により、千葉県内80市町村が36市20町村となっておりますが、今後、合併の第二ステージとして、2市4町(成田市・富里市・栄町・神崎町・多古町・芝山町)の人口23万人規模での「空港圏合併」を目指し、関係市町長の話し合いの成果を積み上げていきたいと考えております。また、これらに即応し、合併促進を標榜する市民団体主催による空港圏合併を推進する懇談会なども開催され、町民の方々の合併への機運も醸成されつつあります。

歴史や文化、自然など、多古町らしさを大切にしつつ、愛着を持てる活気と個性あふれる地域づくりを実現していくため、限られた財源を有効に機能させ、皆様とともに諸課題に取り組んでまいり所存です。皆様の発想による、各部門にわたる参加型のまちづくりを加速させていきたいと考えております。ご協力を期待申し上げます。

町民の皆様のみますますのご多幸を、心から祈念申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

# 謹賀新年



多古町議会議長  
勝又 剛

**あ**けましておめでとうございます。二〇〇八年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様方に心からお慶びを申し上げます。

昨年四月の議会議員選挙では大勢の方々のご推挙により町議会議員に当選させていただき、また五月の臨時議会においては議長に当選させていただき、その重責に身の引き締まる思いでございます。

私は任された任期中、町民の皆様方のご要望にお応えし、そして議会議員の同士と共に、なお一層精進し、誠心誠意期待に沿えるよう努力いたす所存でございますので、よろしく

お願いいたします。

国会は、運営の行き詰まりから首相が失脚し、新政権が誕生しましたが、その後の野党にもいろいろ問題があり、なかなか思うようには進まず混乱し、国民に不安感を与えている状況です。日本の政治は、国内ばかりでなく世界にも貢献する時代になり、一時のたゆみも許されなく、また一刻も早い景気回復を期待する国民の願いであり、望むところであります。国の三位一体の改革との関連から議会の合理化、効率化を進める必要があると認識し、議員定数を減らし、限られた議員の中で慎重審議をしております。

そして、町事業を行うには財源が必要になります。国の行財政改革による平成の大合併で当町は、新生成田市に合併できませんでしたが、町議会としては当時、編入で統一見解が出されております。

町長は、合併を公約にしましたが、

一向に正式な合併協議の場は持ち上げられない状況にあります。

こうした状況下、県は第二ステージの合併の組み合わせ構想案を示し、さらに多古町を含む成田国際空港を中心とした国際空港都市として自主的な合併を推進しておりますが、われわれ町議会に席を置く者としてしましては、議会本来の機能を十分発揮し、禍根を残すことの無いよう、心を新たにしてい取り組んでいく覚悟でございます。

このような財源不足の中で、多くの諸問題と直面してはいますが、議決機関といたしましては誤りの無い選択をし、活力のあるまちづくりを目指して、今後さらなる創意工夫を重ね、町民の皆様方のご期待に応えるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

